

復

五年 画数 12
筆順 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎
フク

復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復

成り立ち



二階屋の形を表し、物を「重ねる」意味の「目」と、足の形を表した「夂」と、道の形を表した「イ」とを組み合わせて作った字です。

「重ねて道を行く」という意味を表した字です。「行った道を、ふたたび通って「かえる」ことを表した字です。

例 往復、復路、復旧、回復。

「ふたたびする(ふたたび)」という意味にも使います。

例 復習、復活。

また、「おかせし」の意味にも使います。例 報復、復讐。

使い方

▽ぼくの家から学校まで往復十分かかります。片道五分と、とても近いので、遅刻したことがあります。

▽わたしは、大病にかかったことがあります。回復するのに長いことかかったので、おとうさんやおかあさんは、大そう心配したそうです。

熟語例

▽往復(行って帰ること。行きと帰り)

▽復路(帰り道)

▽復旧(元の状態にもどること。「復旧作業をいそいだので、二、三日で元のようにになった」などというふうにつかいます。)

▽回復(悪い状態から、元の良い状態にもどること。とくに、病気がなおって、元の健康な体になることを言います。)

▽復習(習ったことを、また習いかえすこと。)

▽復活(廃止されたことを、またやるようになること。また、死んだ人が、生きかえることをも言います。)

▽報復(しかえしをすること。)

▽復讐(しかえし)

復

五年 画数 14
筆順 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎
フク

復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復 復

成り立ち



二階屋の形を表し、物を「重ねる」意味の「目」と、足の形を表した「夂」と、衣服の形を表した「衣」とを組み合わせて作った字です。

「二枚の布を重ねて作った着物」(布を合わせるのを「合わせ」と言い「袷」と書きました)のことを表した字です。

今は、物の「重なる」こと、また「重ねる」という意味に使われます。例 重複、複合、複雑。

「二つ以上」「たくさん」という意味にも使います。例 複数、複眼、複写、複製。

使い方

▽ぼくは算数が苦手です。計算問題なら、まだいいのですが、複雑な応用問題になると、よくわかりません。おにいさんは、よく読んで式を立てればいいと言いますが、それがうまくできないのです。

▽わたしはルノアールの人物像の複製を持っています。複製でも、とてもきれいな絵です。いつか、お金をためて本物を買えればいいな、と思います。

熟語例

▽重複(同じ物事が、二つ以上重なること。「ジューウフク」とも読みます。)

▽複合(二つ以上のものが重なること。「複合語」といえば、二つ以上の単語が結びついて、一言葉になったものことです。例「旅行日記」)

▽複雑(物事が重なって、いりくんでいて、わかりにくいこと。)

▽複眼(小さな目がたくさん集まってできている目)

▽複写(同じものを二枚以上いっしょに写すこと。また、一度写したものを、さらに写すこと。)

▽複製(美術品などを、そっくりにしたもの)

▽復讐(しかえし)